

オリエントタイ航空機による都心上空飛行

概要

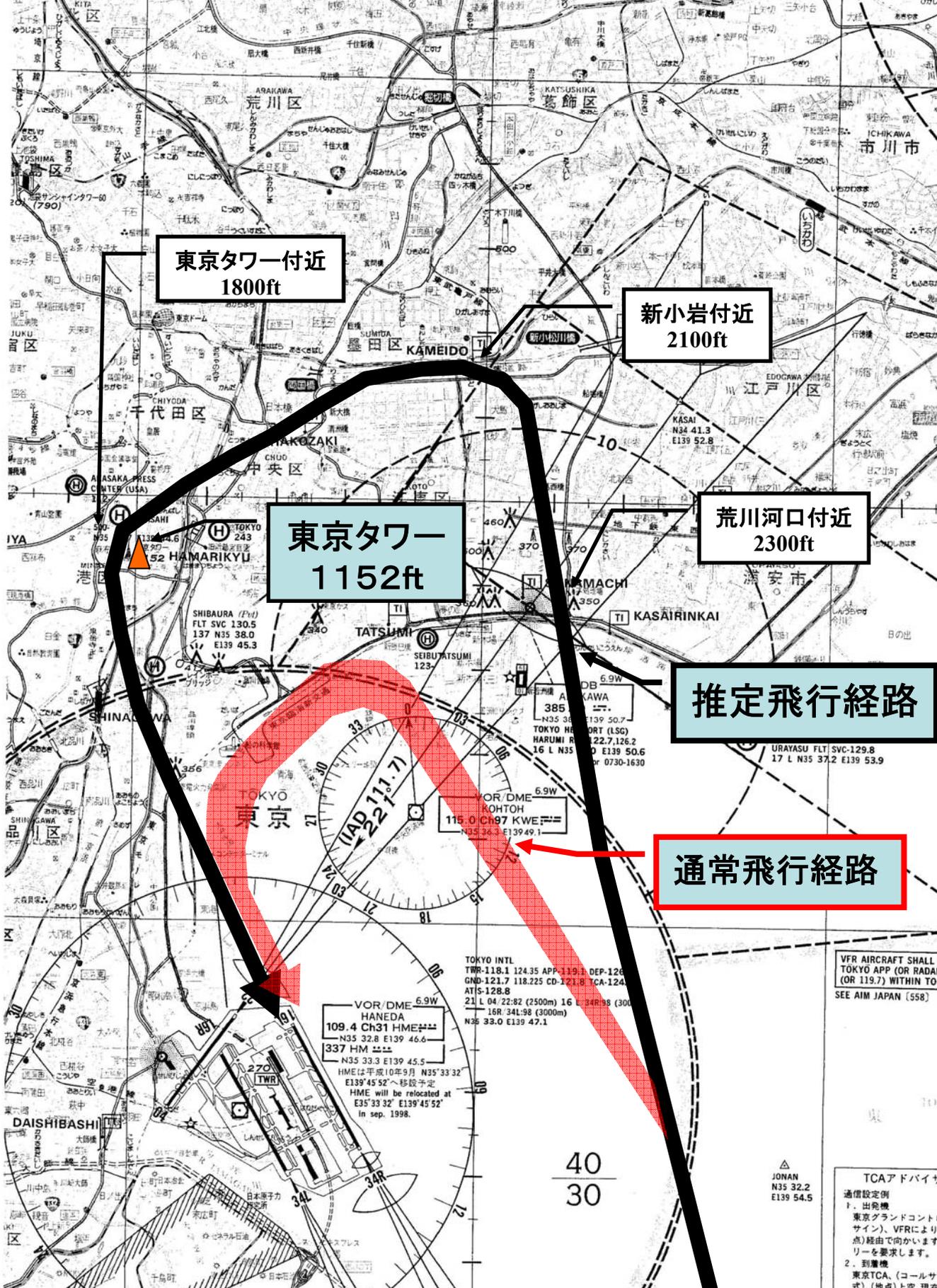
- 9月19日深夜、フェリー・チャーター便でタイ・バンコクから飛来したオリエントタイ航空B747型機が、羽田空港C滑走路に北側から進入する際、通常想定されている飛行経路から大きく北側に逸脱し、都心上空を飛行したため、騒音の苦情が数十件あり、また、東京タワーの近辺を飛行した。
- 当時は視程が良好かつ雲高も低くないことから、機長が滑走路を目視しながら、機長の責任で着陸する「視認進入」が管制官から指示されていたが、当該方式には定められた経路がなく、結果として通常想定される飛行経路から大きく逸脱した。

現状

- 羽田空港に係る飛行方式については、航空路誌（AIP）に必要なものを記載
 - 騒音上の観点から、空港北側へはできる限り進入しないこと。
 - 東京タワーに関する情報が目立たない状況で記載されている。
- 管制官の対応について
 - 今回の飛行方式は、地表及び障害物との衝突回避と運航をパイロットの責任で行う「視認進入」で行われており、管制官は特に対応していない。

対応策

- 航空路誌の記載の変更の検討
 - 内陸部への飛行を避けるべく通常飛行すべきルートについて、例えば湾岸道路より北側へ飛行しない等具体的な記述について早急に変更を行う。
 - 東京タワー等、高い建造物の存在について周知・確認できるよう記載の変更を行う。
- きめこまかな対応
 - 通常想定されうる経路から大きく逸脱していることがレーダー等で判明した段階で、必要な助言を行う等の対応。



東京タワー付近
1800ft

新小岩付近
2100ft

東京タワー
1152ft

荒川河口付近
2300ft

推定飛行経路

通常飛行経路

VOR/DME 6.9W
HANEDA
109.4 Ch31 HME
N35 32.8 E139 46.6
337 HM
N35 33.3 E139 45.5
HMEは平成10年9月 N35°33'32"
E139°45'52"へ移設予定
HME will be relocated at
E35°33'32" E139°45'52"
in sep. 1998.

TOKYO INTL
TWR-118.1 124.35 APP-119.1 DEP-126.0
GND-121.7 118.225 CD-121.8 TCA-124.4
ATIS-128.8
21 L 04/22:82 (2500m) 16 L 34R:89 (3000m)
16R:34L:98 (3000m)
N35 33.0 E139 47.1

40
30

JONAN
N35 32.2
E139 54.5

VFR AIRCRAFT SHALL
TOKYO APP (OR RADAR
(OR 119.7) WITHIN TO
SEE AIM JAPAN (558)

TCAアドバイザ
通信設定例
1. 出発機
東京グランドコンド
サイン)、VFRにより
点)経由で向かいます
リーを要求します。
2. 到着機
東京TCA。(コールサ
東)(地点と空